

TemProof

MCT  マルチケーブル用トラフシット

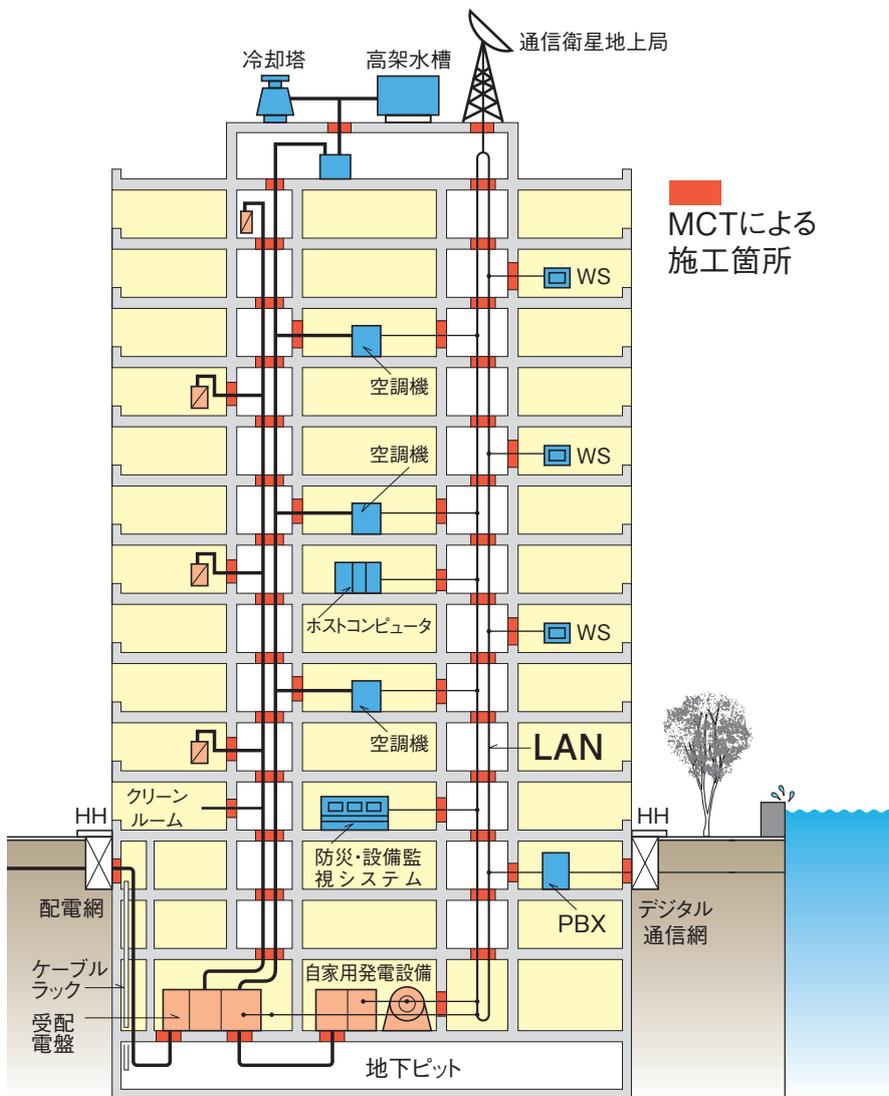
防水・気密・耐火等の防災措置工法



あらゆるアクシデントを想定し、開発。



▼図は総合防災を重視したMCT適用例



発行の要点

MCT部材が変更となったため、カタログ更新しました。

主な用途例

- ピットの引込み口・ハンドホール・共同溝・洞道の防水
- EPS・電気室の耐火
- クリーンルームの防塵・気密・防湿・耐火
- コンピュータ室の防塵・気密・防湿・耐火
- 盤引込み口の防塵
- 無菌室・実験室の防塵・気密
- 外部からの引込み口の小型動物侵入防止
- 音響室の遮音

高度な防災性能を発揮するMCT。

性能・特長

■防水性能が抜群です。

以下の条件で防水性能を確認しています。

・98kPaの水圧(水深10mに相当)を加え3時間保持。

直接屋外に通じる壁貫通部、床貫通部などに最適な防水性能を提供します。

■高度な気密性です。

以下の条件で気密性能を確認しています。

・98kPaの気圧を加え3時間保持。

臭気、ちり、ほこり、ガスなどをシャットアウトし、快適な居住環境を提供します。

■耐火性能を有しています。

ISO834で定められている標準火災温度(標準的に火災発生から時間経過と共に発生する温度)で60分耐火試験を実施、非加熱面に火炎の噴出がないことを確認しています。

国土交通大臣認定番号:

壁 PS060WL-1245、床 PS060FL-1256

注:国土交通大臣認定、工法表示ラベルが必要な場合は認定範囲がありますのでお問い合わせ下さい。

■小動物の侵入を防止します。

外部から建物内部への、ヘビやネズミなど小動物の侵入を防ぎます。

■遮音性にすぐれています。

最大51.5dBの減衰効果があります。

■耐候性にすぐれています。

周囲温度が-60℃から+70℃までの環境でご使用いただけます。

■有毒ガスは発生しません。

特殊合成ゴムはハロゲンフリーの材料を使用しているため、燃焼時人体に影響する有毒ガスは発生しません。

■ほとんどの薬品、ガスに耐えます。

特殊合成ゴムで構成されており、ほとんどの薬品、ガスに耐えます。

■融通性に富んでいます。

電線の追加、交換、取りはずしなどが容易です。MCTは、設計段階から施工後の検査まで、電線のレイアウトに少しのくまりもありません。

■多くの電線も小さな取付けスペースですみます。

■点検が容易です。

各ユニットはかくれたり、シールされたりしていませんので、目で見て容易に確かめられ、点検できます。

権威ある諸機関から認定・承認されています

- 国土交通大臣認定
- American Bureau of Shipping
- DNV
- Lloyds Register of Shipping
- Marine Equipment Directive (MED)
(EU諸国の船級協会に共通して有効です)

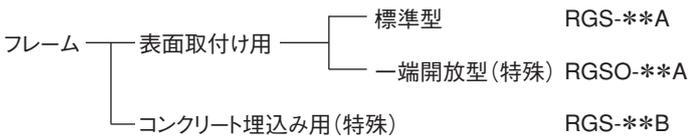
合理的なパーツ構成が総合防災の証です。

1 貫通フレーム

フレームは鋼板製、溶融亜鉛メッキを標準としています。
取付け方法は、「表面への取付け」と「コンクリートへの埋込み」の
どちらにも対応します。

また標準以外の特殊なフレームも製作できます。
(船級認証フレームについては別途お問合せをお願いします)

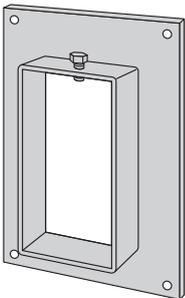
● フレームの種類



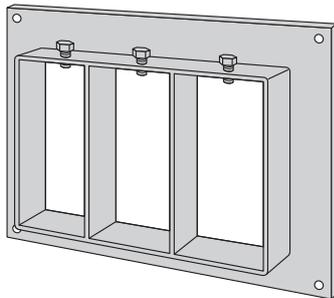
● 表面取付け用

標準型

RGS-A型(1連)

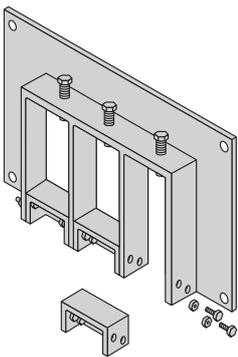


RGS-A型(3連)



一端開放型(特殊)

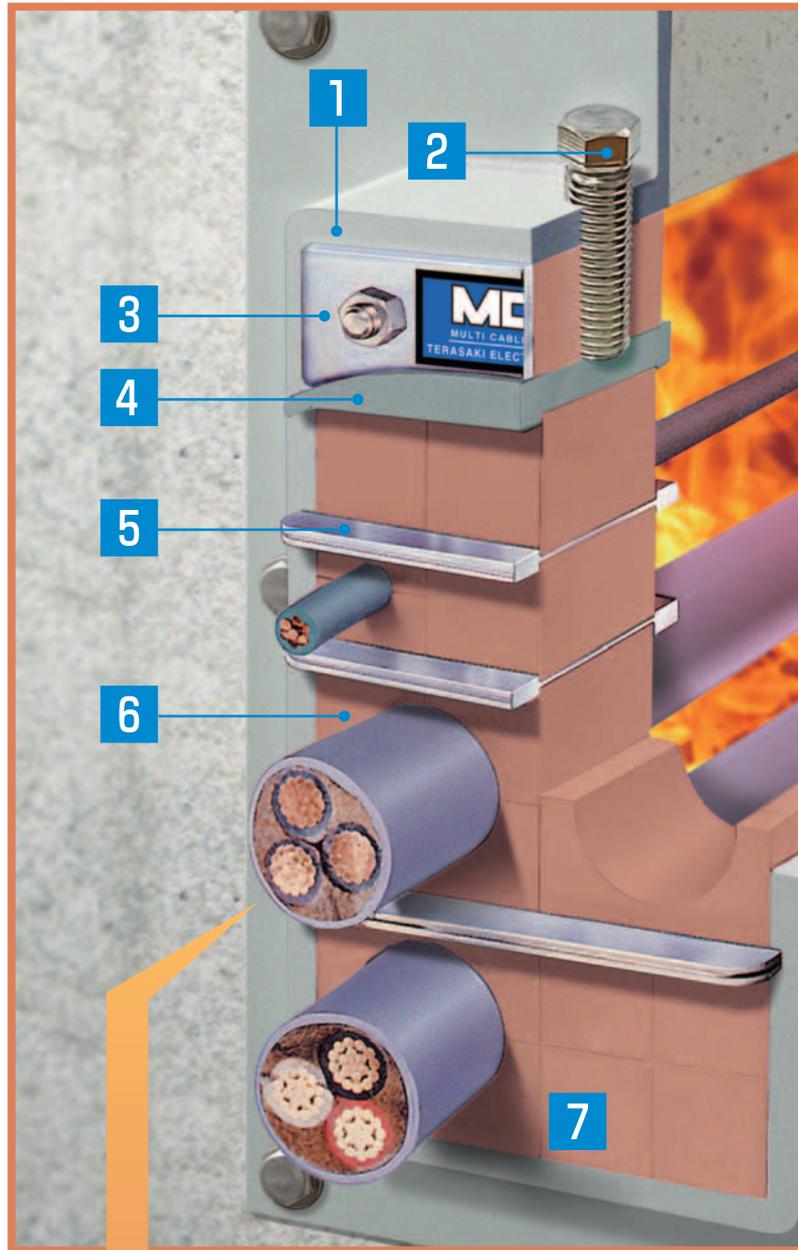
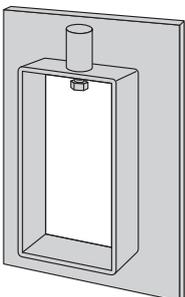
RGSO-A型



はめこみユニット

● コンクリート埋込み用(特殊)

RGS-B型(1連)



すぐれた耐火原理です。

特殊な材料できているインサートブロックは、つぎのような働きで炎を完璧にシャットアウトします。

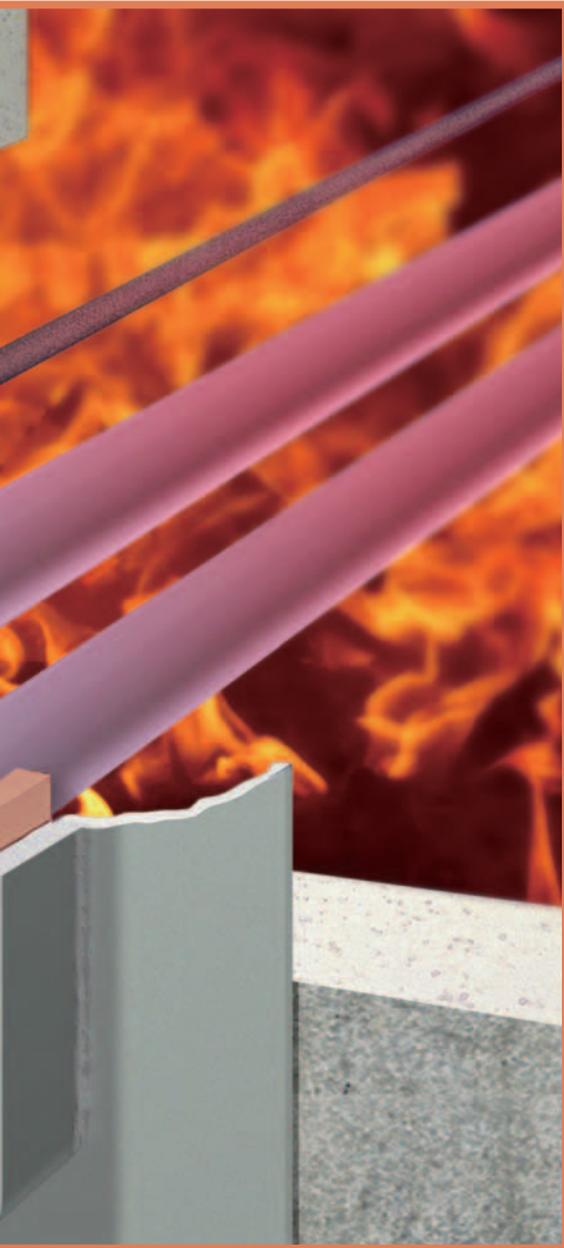
火災でケーブルの被覆材が燃焼

インサートブロックは火災で膨張

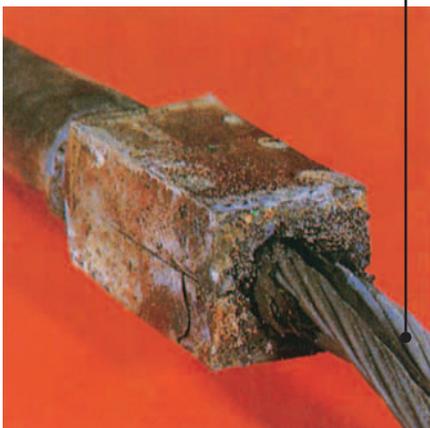
インサートブロックが電線の周囲を完全にシール

インサートブロックは炭化

安定したシールが形成され炎を完璧にシャットアウト



ケーブルの被覆材は燃え尽き、素線だけが焼けただれて残ります。



2 圧縮ボルト



締付ける場合、このボルトで圧縮プレートを押しえます

3 エンドパッキン



防水、気密性、耐火を完全に保つため、インサートブロックを圧縮します。

4 圧縮プレート



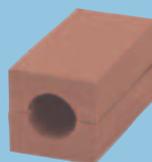
インサートブロックを保持し、圧縮します。

5 ステイプレート



インサートブロックの各段の間に入れ、貫通フレーム内のインサートブロックを確実に保持します。

6 インサートブロック



一対になったブロックは、弾力性のある特殊材料を素材とし、中心が円形になっています。

7 インサートブロック (スペア)



スペアは、将来の増設や充填物として使用するため穴なしとなっています。(穴あけ加工は行わないで下さい)

CVTケーブル用パテ



シーラー



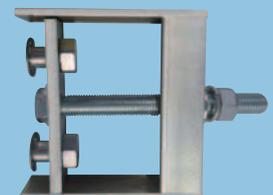
防水・気密用などの場合にご使用下さい。上の写真のようにインサートブロック中心部分およびインサートブロックとエンドパッキンの外表面・フレーム内の四隅・フランジ取付面にも塗布して下さい。(1枠に1本ご使用下さい。)

潤滑剤



耐火用の場合にご使用下さい。インサートブロックとエンドパッキンの外表面に塗布して下さい。(1枠に1本ご使用下さい。)

エンドパッキン引抜き工具

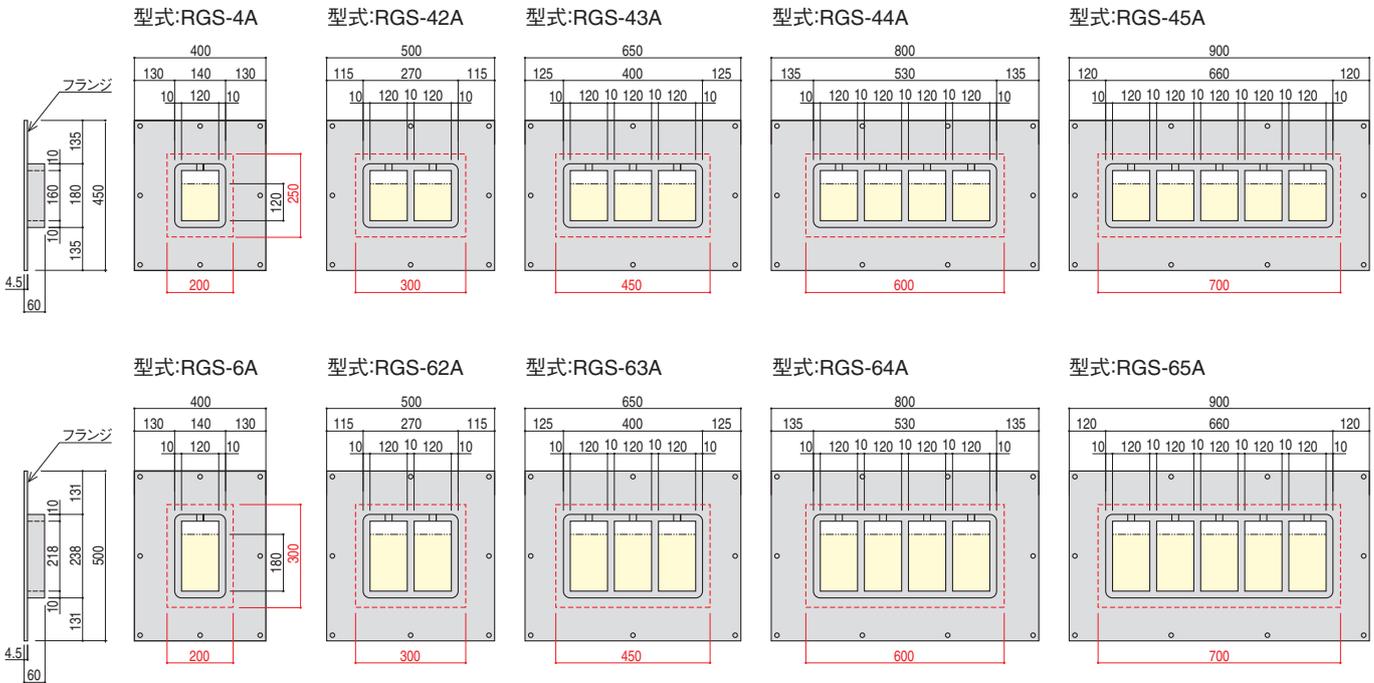


ケーブルの撤去、増設の場合にエンドパッキンを引き抜くための工具です。

注：エンドパッキン、ステイプレートは鉄製、圧縮プレートは熱硬化性樹脂(不飽和ポリエステル)製が標準となります。SUS製が必要な場合はご指示をお願いします。

貫通フレームのサイズ

■表面取付け用参考図



赤数字は開口寸法を表します。

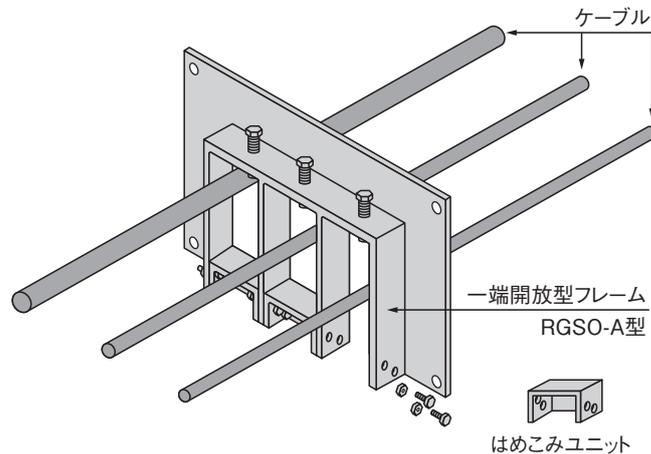
フランジ寸法はお打合わせにより調整できます。

■はケーブルが貫通できるスペースです。

注:耐火目的で国土交通大臣認定が必要な場合はお問い合わせ下さい。

特殊貫通フレームも 製作できます

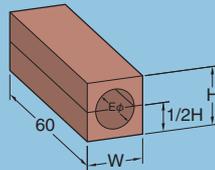
- 一端開放型の貫通フレーム(既通線用)
- 標準以外の大きなサイズ
- 特殊な形状・寸法のフランジ
- 標準塗装処理
- ステンレス(SUS304)製(渦電流対策用)



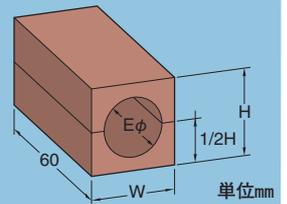
インサートブロックのサイズ

● インサートブロックの種類と寸法

インサートブロック20
インサートブロック30
インサートブロック40
インサートブロック60

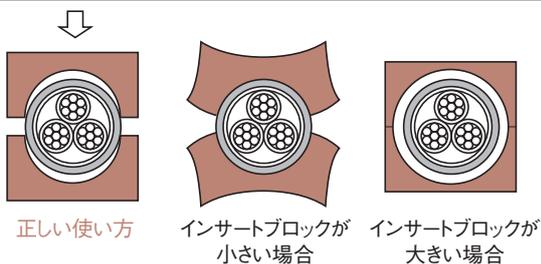


インサートブロック90
インサートブロック120



▼ ケーブル外径寸法とインサートブロックの適合表

ケーブル 外径寸法 (mm) ～	インサートブロック20 W = 20 H = 20		インサートブロック30 W = 30 H = 30		インサートブロック40 W = 40 H = 40		ケーブル 外径寸法 (mm) ～	インサートブロック60 W = 60 H = 60		インサートブロック90 W = 90 H = 90		インサートブロック120 W = 120 H = 120		
	E	部品番号	E	部品番号	E	部品番号		E	部品番号	E	部品番号	E	部品番号	
3.6	4.5	4	20/4				31.6	33.5	32	60/32				
4.6	5.5	5	20/5				33.6	35.5	34	60/34				
5.6	6.5	6	20/6				35.6	37.5	36	60/36				
6.6	7.5	7	20/7				37.6	39.5	38	60/38				
7.6	8.5	8	20/8				39.6	41.5	40	60/40				
8.6	9.5	9	20/9				41.6	43.5	42	60/42				
9.6	10.5	10	20/10				43.6	45.5	44	60/44				
10.6	11.5	11	20/11				45.6	47.5	46	60/46				
11.6	12.5	12	20/12	12	30/12		47.6	49.5	48	60/48				
12.6	13.5	13	20/13	13	30/13		49.6	51.5	50	60/50	50	90/50		
13.6	14.5	14	20/14	14	30/14		51.6	53.5	52	60/52	52	90/52		
14.6	15.5			15	30/15		53.6	55.5	54	60/54	54	90/54		
15.6	16.5			16	30/16		55.6	57.5			56	90/56		
16.6	17.5			17	30/17		57.6	59.5			58	90/58		
17.6	18.5			18	30/18		59.6	61.5			60	90/60		
18.6	19.5			19	30/19		61.6	63.5			62	90/62		
19.6	20.5			20	30/20		63.6	65.5			64	90/64		
20.6	21.5			21	30/21		65.6	67.5			66	90/66		
21.6	22.5			22	30/22	22	40/22	67.6	69.5			68	90/68	
22.6	23.5			23	30/23			69.6	71.5			70	90/70	
23.6	24.5			24	30/24	24	40/24	71.6	73.5				72	120/72
24.6	25.5							73.6	75.5				74	120/74
25.6	27.5							75.6	77.5				76	120/76
27.6	29.5							77.6	79.5				78	120/78
29.6	31.5							79.6	81.5				80	120/80
31.6	33.5							81.6	83.5				82	120/82
33.6	35.5							83.6	85.5				84	120/84
								85.6	87.5				86	120/86
								87.6	89.5				88	120/88
								89.6	91.5				90	120/90
								91.6	93.5				92	120/92
								93.6	95.5				94	120/94
								95.6	97.5				96	120/96
								97.6	99.5				98	120/98
								99.6	101.5				100	120/100

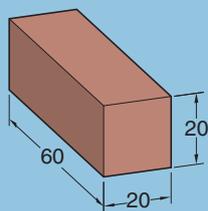


注:耐火目的で国土交通大臣認定が必要な場合はお問い合わせ下さい。

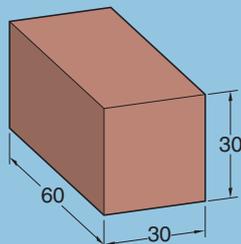
● インサートブロック (スペア) の種類と寸法

2種類を準備しております。

● 部品番号：20/0



● 部品番号：30/0

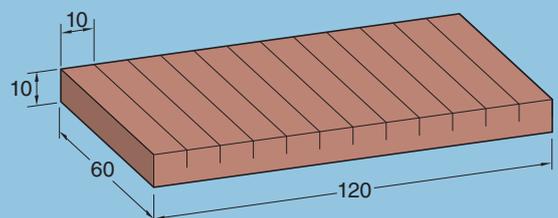


単位mm

● インサートブロック (フィルイン) の寸法

(10mmのスペース調整に使用)

● 部品番号：12×10/0



単位mm

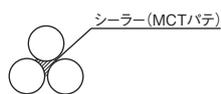
インサートブロック組立て作業順序



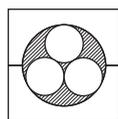
- トリプレックスケーブルの場合は下記の手順で作業をしてください。

パテは温めて柔らかくしてから御使用ください。

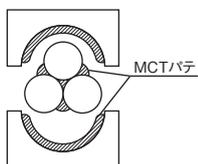
- 1.
- 2.
- 3.
- 4.



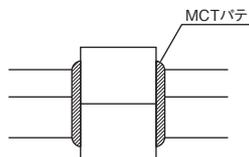
ケーブルの中心部を広げ、
シーラーを充填する。
(耐火目的の場合はMCTパテを充填)



インサートブロックを
セットする。



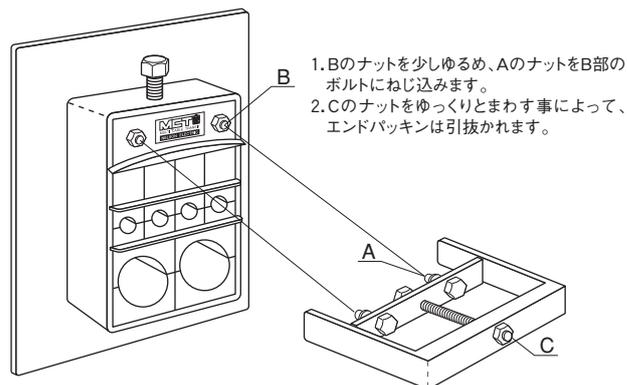
インサートブロックの溝と
トリプレックスケーブル間に
MCTパテを充填する。



インサートブロックの表面に
出るパテを仕上げる。

- ケーブルの撤去、増設の場合のエンドパッキンの取り外し手順

下記の手順で作業をしてください。



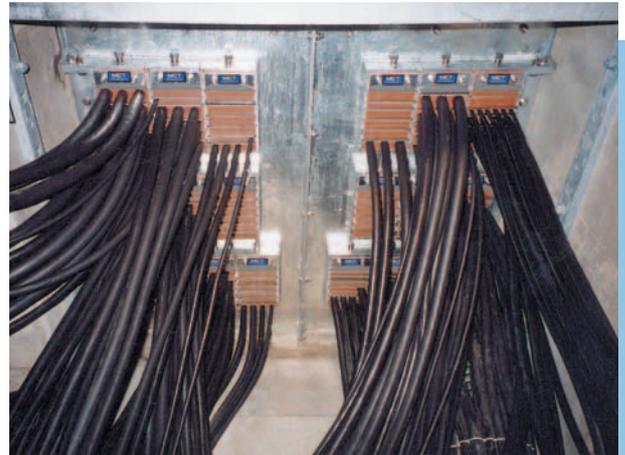
1. Bのナットを少しゆるめ、AのナットをB部の
ボルトにねじ込みます。
2. Cのナットをゆっくりとまわす事によって、
エンドパッキンは引抜かれます。

エンドパッキン引抜き工具

MCT施工例



▲ハンドホール 壁貫通 (RGS-A型)



▲ピット 壁貫通 (RGSO-A型)



▲EPS 床貫通 (RGSO-A型)



▲ピット 壁貫通 (RGSO-A型)



▲地下通路 壁貫通 (RGS-B型)



▲制御室 床貫通 (RGS-B型)

MCT選定表（見積検討用資料）

以下の内容につきましてわかる範囲で記入をお願いします。
 （実際に製作する場合は、別途打合せが必要となります）

1. 使用目的（○印をつけて下さい）

防水，気密，耐火，その他（ （耐火目的の場合「国土交通大臣認定」必要 or 不要）
--

2. 現場状況

2-1. 施工箇所・ケーブル入線状況

施工箇所状況	ケーブル状況	該当内容に○
既設	ケーブル入線済	
新設	ケーブル入線済	
	ケーブル未入線	

2-2. 取付位置（○印をつけて下さい）

ピット，壁，床，天井，その他（ ）

2-3. 開口寸法

ハコ抜き	縦 mm × 横 mm × 奥行 mm	
コア抜き	コアサイズ(直径) mm	
	本数 本	
	各コア間隔	mm
		mm
		mm

2-4. 電線内容（種類・外径・本数）

電線種類	電線外径	本数
	mm	本

3. フレーム選定

用途	型式(○は数字)	仕様	仕上(該当箇所に○)		
			メッキ	塗装	SUS
陸上用	RGS-○○A	表面取付用(標準型)			
	RGSO-○○A	表面取付用(一端解放型)【特殊仕様】			
	RGS-○○B	コンクリート埋込用【特殊仕様】			
船舶用	RGS-○×○	フランジなし			
	RGSF-○×○	フランジあり			

注：各種フレームは現場状況により、特殊仕様となる場合がございます。

寺崎電気産業株式会社
 機器事業 営業部 防災課
 TEL 06-6791-2715
 FAX 06-6791-2732

ご用命は下記にお願いします。

寺崎電気産業株式会社

本 社 〒547-0002 大阪市平野区加美東六丁目13番47号

機器事業

防 災 課 〒547-0002 大阪市平野区加美東6-13-47
TEL 06-6791-2715 FAX 06-6791-2732

東 京 営 業 所 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-6-10 日幸茅場町ビル5F
TEL 03-5644-0160 FAX 03-5644-0161 kiki-tokyo@terasaki.co.jp

大 阪 営 業 所 〒547-0002 大阪市平野区加美東6-13-47
TEL 06-6791-2756 FAX 06-6791-2732 kiki-osaka@terasaki.co.jp

東 北 営 業 所 〒983-0045 宮城県仙台市宮城野区宮城野3-5-15 宮城野アベニュー1F
TEL 022-296-4230 FAX 022-296-4231

名 古 屋 営 業 所 〒465-0013 名古屋市中東区社口1-908
TEL 052-760-1401 FAX 052-776-7015 kiki-nagoya@terasaki.co.jp

四 国 営 業 所 〒762-0044 香川県坂出市本町3-6-12 さくらビル3F
TEL 0877-85-9001 FAX 0877-85-9002 kiki-shikoku@terasaki.co.jp

九 州 営 業 所 〒815-0033 福岡市南区大橋1-2-3 大橋センタービル3F
TEL 092-512-8731 FAX 092-511-0955 kiki-kyushu@terasaki.co.jp

MMXX4-1.0K

*この印刷物でご紹介した内容をお断りなしに変更することがあるのでご了承下さい。